

第6学年 国語科学習モデル指導案

1. 単元名 「学級討論会をしよう」

2. 本時について

(1) 本時の目標

どのような伝え方をすれば、相手に受け止めてもらえるかについて考えることができる。

(2) 本時の展開（最後の15分の展開）

分	教師の支援	学習活動
1	● 討論会の後に、自分の経験から「伝えにくいなあ」と思うことについて考えさせる。	T: 討論会では、今までの生活をふり返ると「本当は伝えたいんだけど、伝えにくいなあ」と思う場面がたくさんあるのではないかと思います。
3	☆ワークシート(マンガ資料)「あなただったらこんなとき、どうする？」を配付し、自分だったらどんな考えをもち、どんな伝え方をするか考えさせる。	
4	● グループごとにしんじさんに伝える言葉を発表し合い、伝える言葉について意見交換をする。 ＜意見交換の視点＞ ・なぜ、伝える言葉を選ばなくてはいけないのか ・どんなことに気をつけなくてはいけないのか	T: では、グループになりしんじさんに伝える言葉を発表し合い、視点に沿って意見交換をしましょう。
4	● グループで出た意見をシェアリングする。	T: グループでどんな意見が出たか、代表者の人は発表しましょう。 C: 相手の立場や年齢を考えた言い方をした方が、もっとよく伝わるのではないかと思います。 C: 怒るのではなく、でもはっきりと伝えることが大切だと思いました。
3	● 「職業シート」を配付し、伝えにくいことを伝えることが他者のためになったり、快適なくらしのためになったりすることに気づかせる。	
☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。		
<p>「本当は言いたいんだけど・・・」という経験をした人は多いと思います。逆に「言いたいことはすぐ言う」という人ももしかしたら多いかもしれません。どちらがよいのでしょうか・・・(児童に考えさせる) どちらともいえないですね・・・</p> <p>おそらく、「言っておけばよかった」「言わなきゃよかった」という結果があるでしょう。全てがそうとは限りません。ただ、自分も相手も快適に生活していくためには伝えなければいけないことがあります。そのために伝える相手の背景や立場、気持ちを理解して言葉を選ぶ必要があります。まずは友達とのコミュニケーションを振り返ってみてください。きっと、見直すべき点が出てくるとと思いますよ。</p>		